

令和元年度長久手市市内一斉防災訓練の結果について

1 訓練方針

市内で、震度6強の地震が発生したとの想定の下、会場（小学校）ごとに住民が主体となり防災関係団体、市職員が協力し一斉に訓練を実施する。

○ 今年度の重点項目

- (1) 要配慮者への対応
- (2) 学校との連携
- (3) 実際に発災したことを想定した訓練

2 防災訓練開催日時

令和元年 11 月 17 日（日） 9 時 00 分から 10 時 30 分
（会場によっては 11 時 00 分までのところあり）

3 訓練会場

市内 6 小学校（長小、西小、東小、北小、南小、市が洞小）

4 参加者数

学校名	今年	昨年	増減
長小	494人	578人	-84
西小	548人	578人	-30
東小	131人	229人	-98
北小	552人	450人	+102
南小	484人	521人	-37
市が洞小	386人	452人	-66
校区特化	320人	38人	+282
合計	2,915人	2,846人	+69
参加団体	361人	478人	-117
職員	67人	104人	-37
総計	3,343人	3,428人	-85

5 重点項目の実施状況

(1) 要配慮者への対応

ア 今年度も避難行動要支援者の安否確認について民生委員児童委員と地域が連携して3つの小学校区で実施できた。来年の防災訓練では地域と連携して安否確認を行う小学校区を増やせるようにしたい。

イ 乳幼児への対応については、今年度も保育園の職員が避難所保育園を2つの小学校で開設し好評であった。

(2) 学校との連携

学校防災に関するパネル展示を市ヶ洞小学校で行った。

(3) 実際に発災したことを想定した訓練の拡充

初期消火訓練、家具の転倒防止、AEDの取り扱い、起震車による地震体験、炊き出し訓練に加え、東小学校区において自主避難所への対応訓練を行った。

6 検証会での意見

(1) 自治会連合会等、参加関係団体が積極的に防災訓練に取り組んでいただき、市民主体で実施する防災訓練が定着してきている。

(2) 防災訓練は共助を中心とした訓練であるが、まずは自助についての啓発が必要

(3) より実践的な訓練や避難所での宿泊体験訓練を実施してはどうかという意見があった。

また、展示するだけの訓練はやめ、体験してもらえるような訓練を増やすべき。

(4) 訓練内容について、マンネリ化が見られるのではないか。

(5) 小学校区での先進的な取り組み事例の紹介は、次年度の訓練への励みになる。

7 来年度の市内一斉防災訓練の日時

令和2年11月15日（日）